事系	务事	業実績	責測定調	書												
事	務事	業名称	留守家庭児	童会室維	持管理事	業										
	測定:	年度	2021	(R3)年	隻		部		学校教育部	3	課	放	課後子ども詞	果		
市長	公約	との関係	所信表明]	0	市政運営方針	+ R2		R3		R4					
			基	本目標		3.一人ひとりの	D成長を支え、豊かな心を育むまち									
総	合計i	画体系	施	策目標		15.子どもたち	が健やかに育つことができるまち									
				亍計画名		15-2.保育環境	竟等の充実									
1. 事		事業の概		Lava Anto -arro		44.1			-n-b-76				de tra de la laca des	n arre also 76a		
	事業:		内	部管理	C41) /: #	特性			祁事務		区分 一般内部管理事務					
		別间 :令等	*************************************		S41)年度 1辛今夕8	· ·例、枚方市放	年度	~ # △ 本 出 車 型	その部/世五ヶ	(水)(黒)(水) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	て甘油ナウ	よて久 <i>国</i>		年度まで		
		□ 寺]金名称	权力 川 五 笛	丁豕姓为	工里云主オ	[例、权力印放	 孫 俊 允 里 丙	E王月八 丁 月	砂取佣及し	サンセット	る基準を定	める米別				
		世石が 機関名称								リンセット			~			
関係	附 馬	筬 関名	1.45		rn 444		M* [+									
			メインター			庭児童会室在										
:	事業:	対象	サブター			庭児童会室在	籍児童の保	·護者								
			ターゲットが 題		児里の	安全性等を確	保する観点	から、老朽仏	どが進む施設	と 等について	、改善を施っ	ナ 必要がある) _o			
			ターゲットが抱える課題													
ŧ	かざす あるべ 動が解 態	き姿 決した状	適切に整備	することに	こより、入賃	室児童が安全・	安心かつ快	や適に生活て	きる状態							
:	事業	既要	市立小学校 座卓•掃除機	に開設し 終等備品	ている枚の購入等	方市立留守家原 、適切に維持管	庭児童会室 管理を行い、	について、ネ 児童会室の	そ朽化に係る 円滑な運営	る修繕、電化 に資する。	製品の修理	、市有建築特	勿定期点検	等の委託、		
2. 🗆	ジッ	クモデル	及び指標詞	设定												
					フトカム 動効果)				トプット				プット 動)			
D 3	ジック	モデル					入室児童 る。	が安全・安心	いかつ快適に	こ生活でき	修繕など必	要な維持管	理を行う。			
							00									
					クトカム 動効果)				トプット 動結果)				プット 動)			
	指	標説明		\71			施設維持	管理に係る			修繕件数	\/	<i></i>			
+15	+1=	一番手			単位	<u>.</u>	4-6	小十ファ1.22	単位	4 件	T55-4-1	コーファルぶり	単位	件 性		
指標		標種類	R2	Dβ	R4	R5	形2	少することが R3		D指標 R5	1]することが [指標 R5		
設	指標	日保	NZ	R3	r\4	NJ		R3	R4		R2	R3	R4	NJ		
設定	数値	(見込み)					0	0	0	0	50	50	50	50		
		実績					89	63	00/		30	52	40/			
	į	虚成度							0%			10	4%			
		分析					修繕など	必要な維持	管理を行った	t.	修繕など必	要な維持管	理を行った	0		

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	1.66
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	10,903	14,817	12,617		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	454	0	0		
歳	件費	特別職非常勤	_	0	0		
出		附属機関委員	_	0	0		
ш		人件費計	11,357	14,817	12,617		
	物件	-費計	17,631	9,615	22,897	26,881	95%
		歳出計	28,988	24,432	36,237		
	国庫	支出金	7,495	0	0	0	
		出金	7,495	0	0	0	
歳	受益	·者負担(使用料·手数料)	0	0	0	0	
入	市債	i	0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	14,990	173	0	0	
		一般財源	13,998	9,442	23,620	24,906	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>入室児童が安全・安心かつ快適に生活できるよう、必要な修繕を行い、適切な維持管理を行った。

6. 今後の方向性 区分 現

今後の 取組方針

入室児童が安全・安心かつ快適に生活できるよう、必要な修繕を行い、適切な維持管理を行う。

事系	务	事業実績	責測定調	書										
事	務事	事業名称	留守家庭児	芭 金宝運	営事業									
	測足	定年度	202	21(R3)年度	:		部	7	学校教育部		課	放	課後子ども記	果
市長	公	約との関係	所信表	明	O #	i 政運営方針	R2		R3		R4			
			į	基本目標	3.	一人ひとりの	成長を支え	、豊かな心を	育むまち					
総	合言	+画体系		施策目標		子どもたちか		育つことがで	きるまち					
_ _	E 7£	·丰**。III		行計画名	15	-2.保育環境	等の充実							
1. 身	_	事業の概		民サービス		特性		選択的	7 車 坐		区分		一般事務	7 声光
		重類 と期間	111.	• • •	41)年度	村注	年度	迭 // 1	リ尹来		レガー			
	•	法令等	児童福祉法			児童会室条例		√課後 児童僧	全音成事	業の設備及	び運営に関	する基準を定	ドめる条例	TRAC
		助金名称	76至間四岸	1 1000	-ш <i>1 хүч</i> хс		1 000 1100	XIII XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	2 11/1/2017	サンセット	0 X 11 (-1X)	7 442 1 67	~	
		属機関名称								,, ,,,	l.			
7/1 [/]	PIJA	-11/2(1X) L1/1/1	メインタ	ーゲット	留守家庭	児童会室在第	等児音							
				サブターゲット 留守家庭児童会室在籍児童の保護者										
	事美	業対象												
			ターゲットが			ロの入室申込 重数の増加傾								る。
			ターゲットカ 是	が抱える課 <u>頃</u>										
đ	ある 夏が	`す姿、 べき姿 解決した状 態)	入室を希望 ることができ		『全て入室"	できること。円	滑な児童会	室運営を通	じて、児童だ	が安全で快道	適な生活を迫	過ごせ、その	保護者が安	心して預け
	•	業概要	の健全な育設定してい年間で7~9が、平成30	成を図るこ る。通常の 9日程度、1 年度から全	とを目的に 申込期間で 二曜日に臨	育を必要とす 、枚方市立留 ある1月末ま 時開室を実施 け入れを開始	『守家庭児』 でに定員を 。 している。 ³	置会室を各市 超える申込か	i立小学校に があった場合	こ開設してお な、待機児	らり、各児童 童解消のた	会室の定員 め臨時定員	は基準条例 を設定して	に基づき いる。また、
2. □	コジ	ックモデル	レ及び指標 		トカム		Т	アウト	プット			<i>\'\'</i>	プット	
					対象果)			(活動			(活動)			
<u>п</u> ;	ジッ	クモデル	入室児童が 護者が安心	して児童を	注預けること		申し込みに対し、適切に審査したうえで入室決定処理を実施する。				入室を希望する児童の保護者から入室申し 込みが行われる。			
					トカム 効果)			アウト (活動					プット 動)	
		指標説明	待機児童数		点)		入室決定し				受付した入	室希望者数	(
指	-	指標種類	浦小	することが	│ 単位 良いとされる	人 5指標	増力	ロすることが良	単位 Pいとされる	人 指標	増加]することが』	単位	人 指標
標	排		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
設定	設 標 5原 (見込 数 20)		0	0	0	0	4,800	4,800	5,000	5,000	4,800	4,800	5,000	5,000
	値	実績	0	94			4,743	4,691			4,790	4,995		
		達成度			0%			98	3%		104%			
7析 1月31日時点の「入室資格を有するで 申込者」の受け入れができず待機児 した。							申込者」の	点の「入室資 受け入れが っ目標値には	できず待機	児童が発生	受付した入ある。	.室希望者数	は、年々増	 加傾向に

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	2.32
任期付職員	85.60
会計年度任用職員	54.51
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	668,696	440,340	389,738		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	202,062	236,332	228,943		
歳	件費	特別職非常勤	_	0	0		
出		附属機関委員	_	0	0		
ш		人件費計	870,758	676,672	618,681		
	物件	-費計	180,761	62,801	37,606	39,948	96%
		歳出計	1,051,519	739,473	656,497		
	国庫	支出金	189,726	158	19,582	19,412	
		出金	172,322	0	19,162	19,412	
歳	受益	·者負担(使用料·手数料)	340,861	272,619	285,461	356,281	
入	市債	į	0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	702,909	29,191	324,205	395,105	
		一般財源	348,610	33,610	286,599	355,157	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>臨時定員を設けるなど弾力的な運用を図ったものの、1月31日現在の入室資格を有するすべての児童の受け入れができなかった。

6. 今後の方向性 区分 現 現状維持

今後の 取組方針

令和5年4月から全小学校で総合型放課後事業の導入される予定であるため、留守家庭児童会室の役割について検証していく。

事系	务事	事業実 総	責測定調	書										
事	務事	業名称	留守家庭児	皇会室整例	前事業									
	測定	年度	202	1(R3)年度			部	Ä	学校教育部		課	放	課後子ども記	果
市長	公糸	との関係	所信表明	明	0	市政運営方針	R2		R3		R4			
			基	基本目標		3.一人ひとりの	成長を支え	、豊かな心を	:育むまち					
総	合計	画体系		拖策目標		15.子どもたちカ	が健やかにす	育つことがで	きるまち					
	= 7 <i>F</i> -	= ** • TUT		行計画名										
1. 事		事業の概		民サービス		特性		\st.+n.4	り事業		区分		加古型	7 本 米
		類 期間	1111	スリーピス 1966 (S4	41) 年度	村生	年度	迭 // 1	り尹来		巨刀		一般事務	年度まで
		去令等	枚方市立紹			例、枚方市放設		1	の設備及び	運営に関す	ろ其準を定	める条例	<u>:</u>	十尺よく
		助金名称	[X73 11 AZ	1 12,100,000		71 200 11-700	KD/ULIVE	T11/4/C1-7/C	2 BX 0117X G	サンセット	W21 C/C	-> @> (>)	~	
		機関名称								,, ,,,				
12/11/1	111112	112121 111	メインタ・	ーゲット	留守家園	医児童会室在第	等児童							
	—		サブター			医児童会室在第		進者						
	事 業	対象	ターゲットな											
			是	<u> </u>	入室児童	置の増加と施設	老朽化に住	キい、必要と ク	なる整備が	増加している	らこと			
			ターゲットだ	が抱える課										
			起	<u> </u>										
		す姿、 べき姿												
		へさ安 解決した状	入室を希望	する児童が	全て入室	☑でき、安全・安	で心かつ快通	歯に生活でき	る状態					
(IPI NE		美)												
	車業	概要				家庭児童会室			童の安全性	と快適性を	確保すること	を目的として	て、計画的に	留守家庭
	サオ	1M Q	児童会室施	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
2. □	ジ	ックモデル	及び指標	設定										
					トカム 効果)			アウト (活動					プット 動)	
				(泊到	効果/			(冶到	和朱)			(冶	到)	
_,														
	シック	クモデル	児童の生活	理性のみき	色が同さま	1 %	一人当たりの保育面積をもとに、適正な必要				留守家庭児童会室の建替え・修繕、学校 裕教室の改修等を行い、保育スペースを			
			近里の生活	塚児の以音	501凶04	いる。	保育面積を	と設定する。			俗教圣の改修等を行い、保育スペース する。			一个と作木
											, 00			
				구시	トカム			アウト	プット		インプット			
					効果)			(活動					動)	
			//											
	+!	旨標説明	保育面積充 【算出式:保		ソボルカ	云往∨100 】	必要保育	面積			整備を実施	近した留守家	庭児童会室	数
	1	11示武切	异山八	く月 田 付 / 火	公安 体 目	国付 △100】								
					単位	%			単位	平米			単位	室
指	標指			することが				ロすることが!]することが』		*
標业			R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
定	標数	(見込	100	100	100	100	7,425	7,425	7,425	7,425	0	0	0	0
	値		120.28	126.80			8,250	7,825.95			0	3		
		_ 	120.20		27%		0,200	10	5%		U	l .	0%	
		足以汉		12	1 / 0			10	0.0			10	U/U	
	公析		必要な保育	面積の確保	早に努める	ることができ	必要な保育	育面積の確保	に努めるこ	とができ	必要な保育	育面積の確保	早に努めるこ	とができ
		分析	た。				た。				必要な保育面積の確保に努めることができ た。			
											1-0			

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	2,806	0	0		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
歳	件	特別職非常勤	-	0	0		
出	費	附属機関委員	-	0	0		
ш		人件費計	2,806	0	0		
	物件	費計	85,631	0	0	0	-
		歳出計	88,437	0	0		
		支出金	10,625	0	0	0	
		出金	10,624	0	0	0	
歳	受益	者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
入	市債		10,300	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	31,549	0	0	0	
,		一般財源	56,888	0	0	0	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>必要な保育面積を確保し、児童の生活改善に努めることができた。

6. 今後の方向性 区分 現

今後の 必要な保育面積を確保し、児童の生活改善に努める。 取組方針

事系	务事	業実績	責測定調	書											
事	務事	業名称	留守家庭児	童会室	情報端末導	享入事業									
	測定	年度	2021	(R3)年	度		部	À	学校教育部	3	課	放	課後子ども記	果	
市長	公約	との関係	所信表明	1	0	市政運営方針	R2		R3		R4				
			基	本目標		3.一人ひとりの	成長を支え	、豊かな心を	育むまち						
総	合計	画体系	施	策目標		15.子どもたちた	が健やかに育つことができるまち								
				行計画	各										
1. 事		事業の概				44.10		. I . alem					6H. L. dan A	e →m →e ₹/e	
	<u>乗</u>	期間	l':	部管理	!)(R2)年度	特性				区分 1(R3)年度		一般内部管	年度まで		
		去令等	決裁	202	J(K2) 平及		十尺	_ ~		202	I(N3) 平茂			中及より	
		由中 加金名称	1/1300							サンセット					
		機関名称								サンセット			~		
判派	削禺	(成) () () ()	J /> .h	L *1	+4-3田 44	フ 1%4 急用 ひょど	本人	3							
			メインター			子ども課及び児	里芸至職員	1							
	事業	対象	サブター	ケット	人至为	量の保護者等									
	+ ~	V1 2V	ターゲットが	抱える		室職員の出退							。また、児童	会室で作	
			題		成する	保護者宛のお例	眇等を手書	きで作成して	ており、多く	の時間・コス	トを要してい	る。			
			ターゲットか		課										
			題												
		す姿、		マトゥトゥシュ・			* ^ -> = =	o = 36 0 40 .	~ #Z & T ~	8 2777-7-1-4-7-4-1-2-1-2-1-2-1-2-1-2-1-2-1-2-1-2-1-2-1	***-/	. م د اد د. د	Tillanter de	/n =#: +/ k*	
		ヾき姿 ☑決↓ た状				して、課及び児童 図れている状態		の事務負担(/ 軽減及し	子仪建希伊	!寺で行つし	さに又青の	叉り.彼し℃、	保護有寺	
(11112)	態		-v) (土) (1)	□.1年12		M40 C4 9400	50								
	 ***	10T ===				留守家庭児童会	室事業に	ついて、当面	、市直営を	継続する児	童会室にパ	ソコン・プリン	ター・IP電	活機・出退	
	争耒	概要				入を推進する。 『用室に設置し、	庁内I AN	メール笙を	主木に生眠	見付でネット	会結が可能が	な形で道える	が進める		
			IH +KAIII/KIA	K = /	// ルエム マ	ア/11主に队員し、	/1 112/11/	, / / T	坐 件(CID)P.	KIJ CAPTI	Ø/INF/4 J HE/4	よ /// く マ /へで	- XEV/-00		
2. 🗆	ジッ	クモデル	及び指標語	设定											
	• •				ウトカム		1	アウト	プット			11	プット		
					動効果)			(活動					·動)		
_ ·	ジッケ	モデル													
		_ / /v					課及び児童	i 全室職員∅)事務負担	の軽減	児童会室にパソコン・プリンター・IP電話機・出場数システム等の標準端末を道入				
											退勤システム等の情報端末を導入				
				ア	ウトカム			アウト	プット			イン	プット		
	1			()	動効果)			(活動	結果)			(活	·動)		
	指	標説明					年間削減	寺間外勤務師	持間数		情報端末を	と導入した留	守家庭児童	[会室数	
	,,,	1 12/12/0-23													
11-					単位	Ĺ	1361	. 1	単位	時間	1361		単位	箇所	
指煙	指 指標種類標 指		D2	Da	l D4	l DE		「することが E				ロすることが 」			
設	指煙	日信	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
定	定 場 (見込						630	2,520	-	-	30	29	-	_	
	値	実績					491.50	3,712			29	29		1	
		<u>ー へ 情</u> 達成度					101.00		7%	I			0%	1	
	- Î						147%					10			
		分析						算入により一	定の効果に	は認められ	情報端末を導入した留守家庭児童会室数は				
		ולוי נכ					た。				目標に達した。				
							I								

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	_	2,233	1,571		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	0	0		
歳	件費	特別職非常勤	-	0	0		
出		附属機関委員	-	0	0		
ш		人件費計	_	2,233	1,571		
	物件	費計	-	8,253	10,339	10,687	97%
		歳出計	_	10,486	11,910		
	国庫	支出金	-	0	0	0	
		出金	1	8,253	0	0	
歳	受益	者負担(使用料・手数料)	_	0	0	0	
入	市債		-	0	0	0	
	その		-	0	0	0	
		歳入計	-	8,253	0	0	
		一般財源	_	0	10,339	10,687	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>情報端末導入に伴う時間外勤務の削減については、一定効果はあるものの、人員不足による時間外勤務が増加している。

6. 今後の方向性 区分 現 現状維持 今後の

引き続き時間外勤務の削減に努めていく。 取組方針

事	水市米カリ		則定調											
	務事業名称	尓 枚	:方子どもい	きいき広場	易補助事業	É								
	測定年度		2021	(R3)年度			部	Ä	学校教育部		課	放	課後子ども	課
市長	公約との関		所信表明		तं	可政運営方針	R2		R3		R4			
	文公小での国际		基	本目標	3.	一人ひとりの	成長を支え	、豊かな心を	育むまち					
総	合計画体系	آ	施	策目標	15	5.子どもたちた	が健やかにす	育つことがで	きるまち					
				計画名	15	5-2.保育環境	等の充実							
1. 事務事業の概						4114		\mathred (1 m / 1	1 1 1 1 1 1 1				/- /	at . I . sile
種類 事業期間			市民	サービス	20) & #	特性			内事業		区分		一般事	
		. J./ .	. 	2010 (H2		したよりま物	年度	~						年度まで
	艮拠法令等	р.				力金交付要綱				II. I. I	2020/1	D0\ F #	2000	(DA) F F
	系補助金名		:方子どもい	さいさ仏場	易事業補助	力金				サンセット	2020 (1	R2)年度	~ 2022	(R4)年度
関係	附属機関名	占 称												
			メインター		枚方市内	の小学生								
	事業対象		サブター	ゲット										
	争未刈豕	タ	ーゲットが 題	抱える課		授業日が週5 を確保する必		たことや地域	えにおける#	せ代間交流が	ぶ減少傾向に	こあることから	ら、児童の傾	建全な育成
		タ	ーゲットが 題	抱える課										
ā	めざす姿、 あるべき姿 重が解決した 態)			学校区に住	Eむ児童に	こ対し、地域の	特色や多様	(性をいかし	たプログラ、	ムを提供する	ことで、児童	童の健全な育	育成を図る場	易所がある
	事業概要	土	曜日の学校	な休業日を	す. 木ル -	WHITH H DN	1.1							
, -		た	ってのアド	域の特色なバイス等の	や多様性を	をいかしたプロ	「PO等により ログラムを実	、各校区の。 施する。 市に	小学1年生 こおいては、 	~6年生を対 活動実績等	け象に、スポ・ 等に応じた補	ーツや英語の 前助金を交付	のほか、体場 するとともに 	験学習やも こ、運営に
2. [コジックモー	た	ってのアド	域の特色なバイス等の	や多様性を支援を行	をいかしたプロ	「PO等により ログラムを実	施する。市に	小学1年生 こおいては、 	〜6年生を対 活動実績等	†象に、スポ・ 等に応じた補	助金を交付	かほか、体態 するとともに プット	験学習や昔
2. [た	ってのアド	域の特色 ⁴ バイス等の と定	や多様性を対象を行った。	をいかしたプロ	IPO等により	施する。 市に アウト	こおいては、	~6年生を交 活動実績等	†象に、スポ・	前助金を交付 <u>イン</u>	するとともに	験学習や青
		デル及	ってのアド	域の特色。 バイス等の 设定 アウト (活動:	や多様性を 支援を行	をいかしたプロ	コグラムを実	施する。 市に アウト	-プット <mark>-プット</mark> 結果)	活動実績等	等に応じた補 各校区の/	前 イン (記 小学1年生〜 NPO等の活動	ナマるとともに プット 活動) -6年生を対	で、運営に
	コジックモー	デル及	ってのアドルび指標部	域の特色。 バイス等の 设定 アウト (活動:	や多様性を 支援を行 ・カム 効果) ることが出	をいかしたプロ	地域の特色	施する。市に アウト (活動 色や多様性を	-プット <mark>-プット</mark> 結果)	活動実績等	各校区の/ 域団体や!	が イン (浸 小学1年生へ NPO等の活動 よる。	ナマるとともに プット 活動) -6年生を対	で、運営に
	コジックモー	た デル及 児	ってのアドゥなび指標部 なび指標部 童の健全な	域の特色。 バイス等の と定 アウト (活動: な育成を図 で活動: もにおける 足度の高い	や多様性を 支援を行 ・カム 効果) ることが出 ・カム シカム シカム シカン クラップ ・カム ・カム ・カム ・カム ・カム ・カム ・カム ・カム	をいかしたプロップでいる。 コード・マップでは、 は来る。	地域の特色	施する。市に アウト (活動 色や多様性を アウト (活動	プット 結果) ・フット	活動実績等	等に応じた補 各校区の/ 域団体やN 金を交付す	が イン (浸 小学1年生へ NPO等の活動 よる。	プット ・動) ・6年生を対 助実績等に ブット ・5動)	で、運営に
	ジックモデル	た デル及 児 ポープ	ってのアドックで指標部では、一次で指標部では、一次では標語では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	域の特色。 バイス等の と定 アウト (活動: な育成を図 アウト における における と足回答者数〉	や多様性で 支援を行 カム 効果) ることが出 の事業の滞一 く100】 単位	をいかしたプロッでいる。 出来る。 お足度 ト回答者数	地域の特色提供する。	施する。市に アウト (活動 色や多様性を アウト (活動	ごおいては、 ・プット 結果) ・プット 結果)	活動実績等	等に応じた補 各校区の/ 域団体やN 金を交付す	が イン (記) (記) おります (記) (記) おります (記) (記) は 場事業実施	でするとともに プット 動動) -6年生を対 動実績等に ブット 動動) 正団体数	こ、運営に象とした、応じた補助団体
in the state of t	1 ジックモデル ジックモデル 指標説明 指標種類	た デル及 児 ポープ	ってのアドッなび指標部 童の健全な かかした子ど かいした子ど かいた子ど かいた子ど かいた子ど かいた子ど かいた子と かった子ど かった子ど かった子と かった子と かった子と かったった。 かったった。 かったった。 かったった。 かったったった。	域の特色の バイス等の アウト (活動: は育成を図 アウト (およい) もにおの高数と におの高数と 下ることが長	や多様性で 支援を行 カム 効果) ることが出 シカム の事業ので ×100】 単位 いとされ	をいかしたプロックでいる。 は 上度 ト回答者数 は 一 % る指標	地域の特色提供する。参加児童参加児童参加児童参加児童参加児童参加児童参加児童参加児童参加児童参加児童	施する。市に	こおいては、 ・プット 結果) ・プット 結果) 単位 ないとされる	活動実績等	等に応じた補 各校区の/ 域団体やN 金を交付す	は イン (注 小学1年生へ NPO等の活動 トる。	でするとともに プット 動 一 「カット ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	まとした、からいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいいた。がらいいた。がらいいた。がらいいた。がらいいた。がらいいた。がらいいた。がらいいた。がらいいた。<
IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	1ジックモデル ジックモデル 指標説明 指標種類 指	た デル及 児 ポープ	ってのアドックで指標部では、一次で指標部では、一次では標語では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	域の特色。 バイス等の と定 アウト (活動: な育成を図 アウト における における と足回答者数〉	や多様性で 支援を行 カム 効果) ることが出 の事業の滞一 く100】 単位	をいかしたプロッでいる。 出来る。 お足度 ト回答者数	地域の特色提供する。	施する。市に アウト (活動 色や多様性を アウト (活動	ごおいては、 ・プット 結果) ・プット 結果)	活動実績等	等に応じた補 各校区の/ 域団体やN 金を交付す	が イン (記) (記) おります (記) (記) おります (記) (記) は 場事業実施	でするとともに プット 動動) -6年生を対 動実績等に ブット 動動) 正団体数	こ、運営に象とした、応じた補助団体
指標設	1 ジックモージックモデリ	た 及 児	ってのアド なび指標部 童の健全な かした子ど 第出式:満月 アンケート 増加す R2 85	域の特色の バイス等の 没定 アウト (活動): はこれで図 できればでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	や多様性で 支援を行 カム 効果) ることが出 シカム の事業ので ×100】 単位 いとされ	をいかしたプロックでいる。 は 上度 ト回答者数 は 一 % る指標	地域の特色 提供する。 参加児童数 増加 R2 53,280	施する。市に	こおいては、 ・プット 結果) ・プット 結果) 単位 ないとされる	活動実績等	等に応じた補 各校区の/ 域団体や! 金を交付す いきいき広 用力 R2 45	対して イン (注 小学1年生へ NPO等の活動 トる。 イン (注 場事業実施 ですることが R3 45	でするとともに プット 動 一 「カット ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	まとした、からいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいた。がらいいた。がらいいた。がらいいた。がらいいた。がらいいた。がらいいた。がらいいた。がらいいた。がらいいた。<
指標設	1 ジックモージックモデリング	だ及りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり<td>ってのアドゥ なび指標部 童の健全な かかした子ど 算出式:満月 アンケート 増加す R2</td><td>域の特色。 バイス等の と定 アウト (活動: は下ではおいる ではいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td><td>や多様性。 支援を行 カム 効果) ることが出 ることが出 ・カム 効果) いアンケー ×100】 単位 いとなれ R4</td><td>をいかしたプロップでいる。 は来る。 は来る。 は来る。 な指標 R5</td><td>地域の特色提供する。 参加児童参加児童参加児童</td><td>施する。市に</td><td>こおいては、 ブット 結果) さいかしたフ ・ブット 結果)</td><td>活動実績等 プログラムを</td><td>等に応じた補 各校区の/ 域団体やN 金を交付す いきいき広 R2</td><td>おいます (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述)</td><td>プット ・動) ・6年生を対 ・6年生を対 ・6年生を対 ・5動) ・6年生を対 ・6年生を対 ・6年生を対 ・6年生を対 ・6年生を対 ・7ット ・5動) ・6年生を対 ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・7・ ・7・ ・7・ ・7・ ・7・ ・7・ ・7・ ・7</td><td>また。 家とした、 応じた補助 が指標 R5</td>	ってのアドゥ なび指標部 童の健全な かかした子ど 算出式:満月 アンケート 増加す R2	域の特色。 バイス等の と定 アウト (活動: は下ではおいる ではいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	や多様性。 支援を行 カム 効果) ることが出 ることが出 ・カム 効果) いアンケー ×100】 単位 いとなれ R4	をいかしたプロップでいる。 は来る。 は来る。 は来る。 な指標 R5	地域の特色提供する。 参加児童参加児童参加児童	施する。市に	こおいては、 ブット 結果) さいかしたフ ・ブット 結果)	活動実績等 プログラムを	等に応じた補 各校区の/ 域団体やN 金を交付す いきいき広 R2	おいます (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述)	プット ・動) ・6年生を対 ・6年生を対 ・6年生を対 ・5動) ・6年生を対 ・6年生を対 ・6年生を対 ・6年生を対 ・6年生を対 ・7ット ・5動) ・6年生を対 ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・7・ ・7・ ・7・ ・7・ ・7・ ・7・ ・7・ ・7	また。 家とした、 応じた補助 が指標 R5
	1 ジックモージックモデリ	だ及りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり<td>ってのアド なび指標部 童の健全な かした子ど 第出式:満月 アンケート 増加す R2 85</td><td>域の特色の バイス等の 没定 アウト (活動): はこれで図 できればでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td><td>や多様性で 支援を行 カム 効果) ることが出 う事業の満 マンケー ×100 】 単位 とされた R4 80</td><td>をいかしたプロップでいる。 は来る。 は来る。 は来る。 な指標 R5</td><td>地域の特色 提供する。 参加児童数 増加 R2 53,280</td><td>施する。市に アウト (活動) 色や多様性を アウト (活動) な Tすることが E R3 53,650 12,782</td><td>こおいては、 ブット 結果) さいかしたフ ・ブット 結果)</td><td>活動実績等 プログラムを</td><td>等に応じた補 各校区の/ 域団体や! 金を交付す いきいき広 用力 R2 45</td><td>が イン (記 小学1年生へ NPO等の活動 することが、 R3 45 45</td><td>プット ・動) ・6年生を対 ・6年生を対 ・6年生を対 ・5動) ・6年生を対 ・6年生を対 ・6年生を対 ・6年生を対 ・6年生を対 ・7ット ・5動) ・6年生を対 ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・7・ ・7・ ・7・ ・7・ ・7・ ・7・ ・7・ ・7</td><td>また。 家とした、 応じた補助 が指標 R5</td>	ってのアド なび指標部 童の健全な かした子ど 第出式:満月 アンケート 増加す R2 85	域の特色の バイス等の 没定 アウト (活動): はこれで図 できればでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	や多様性で 支援を行 カム 効果) ることが出 う事業の満 マンケー ×100 】 単位 とされた R4 80	をいかしたプロップでいる。 は来る。 は来る。 は来る。 な指標 R5	地域の特色 提供する。 参加児童数 増加 R2 53,280	施する。市に アウト (活動) 色や多様性を アウト (活動) な Tすることが E R3 53,650 12,782	こおいては、 ブット 結果) さいかしたフ ・ブット 結果)	活動実績等 プログラムを	等に応じた補 各校区の/ 域団体や! 金を交付す いきいき広 用力 R2 45	が イン (記 小学1年生へ NPO等の活動 することが、 R3 45 45	プット ・動) ・6年生を対 ・6年生を対 ・6年生を対 ・5動) ・6年生を対 ・6年生を対 ・6年生を対 ・6年生を対 ・6年生を対 ・7ット ・5動) ・6年生を対 ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・6動) ・7ット ・7・ ・7・ ・7・ ・7・ ・7・ ・7・ ・7・ ・7	また。 家とした、 応じた補助 が指標 R5

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.52
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	962	3,158	3,235		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,400	2,468	2,288		
歳	件	特別職非常勤	1	0	0		
出	費	附属機関委員	1	0	0		
ш		人件費計	3,362	5,626	5,523		
	物件	費計	28,098	15,629	16,661	32,231	52%
		歳出計	31,460	21,255	22,184		
	国庫	支出金	0	0	0	0	
		出金	0	0	0	0	
歳	受益	者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
入	市債		0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0	
		一般財源	31,460	15,629	16,661	32,231	

5. 総括的分析

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、いきいき広場事業の活動を9月末まで自粛した校区が多く、10月以降については、感染防止対策を

総括的分析十分に講じて、活動を再開したものの活動回数は大幅に減少した。 いきいき広場事業の活動団体代表者会議を通常は年間3回行っていたが、10月に1回開催し、活動報告や取組みについて情報交換を行った。

6. 今後の方向性 区分 ^現 現状維持

今後の これからの時代を生きる子どもの「生きる力」を育むことを目的として、市内45小学校区で、土曜日の学校休業日を基本に、地域の特色や多様性を 取組方針 生かしたプログラムを児童健全育成事業として引き続き実施する。

事系	务事	業実績	責測定調	資測定調書 総合型放課後事業(放課後キッズクラブ)											
事	務事	業名称	総合型放護	果後事業(放	(課後キッズ	`クラブ`)									
:	測定學	年度	202	21(R3)年度			部		学校教育部		課	放	課後子ども記	課	
市長	公約	との関係	所信表			政運営方針			R3		R4	0			
4/15	ᄼᆂᆦ	而什么		基本目標				と、豊かな心を		+					
祁心		画体系		施策目標 『行計画名	16	.于ともたらり	ソ生さる力で	を育む教育か	・光夫したよ	.b					
1. 事	務事	事業の概		<u> </u>											
	種類		市	民サービス		特性			的事業		区分		一般事務		
	事業	朝間 :令等	九人类去		[29]年度	· 女子士 标 4	年度	~ 、子ども・子育	マナセン	***	146月日夕石			年度まで	
		1金名称	任芸教育位	は、児里倫性	E法、次世刊	、月风又抜刈	東推進伝	、ナとも•ナド	了【又抜伝、	秋万甲附馬 サンセット					
10.00		機関名称	児童の放護	後対策審調						72 671					
124 1210	-1371-91	/AIAI II 11		ーゲット		生する小学生	Ξ.								
	事業	対象	サブタ-	ーゲット	市内に居住	主する小学生	この保護者								
	Ŧ */	*) <i>3</i> *	_	_				過ごすことが					を再生すると	ともに、保	
		- `^r	분		護者が安	心して仕事等	に専念で	きる環境(「小	1の壁」の打	「破)の整備	が求められて	ている。			
t	かざす あるべ が解 態	き姿 決した状				日曜日、三季の壁が打破さ]中に、安全・ 。	安心な学校	敷地内で、	1年を通して	仲間とともに	に自由に自主	臣的に遊べ	
	事業材	概要	に続く「新・供教室(大学を進みの大学をできる)をできる。 一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、	放課後子ど市の「放課後子どけか」「放課ではない」という。 できる はいい はい	も総合プラ 後子ども教皇 いる。 社童の放課を の意見や本 いきにきいき広 義会委員は	ン」を策定し、 室」及び「放記 を対策を進め 市の財政状態 場とも連携・ 、学識経験を	、放課後児 果後自習教 でいくため 況等も踏ま 協働する系 と有する者、	な体験・活動 童クラブ(本 室」)の両事 う、市立小学科 えながら、留 会合的な放課 、社会教育に から、教育多	市の「留守家業を小学校 交4校で放設 守家庭児童 後対ま専門	家庭児童会会の敷地内で の敷地内で 果後子ども教 会室と放課 けた取組を まり おい おい おい おい おい おい おい おい おい おい とい おい とい まれ おい おい おい たい まれ まれ まれ まれ まれ まれ まれ まれ まれ まれ まれ まれ まれ	室」に相当) // 実施する、- (室モデル事 後子ども教室 順次者、児童	及び全児童を中心 一体型を中心 「業を実施し 室の一体的」。 電福祉に関	を対象とすることした計画 、その検証総な運営を核と	が課後子 的な整備等 結果と児童 こし、放課後	
2. 🗆	ジッ	クモデル	及び指標	設定											
				アウ	トカム				プット				プット		
□ 3	ジック ・	モデル	間」「空間」 充実した環		ゆる「3間(* 児童の自主		(活動結果) 希望する児童が放課後子ども教室を利用する。				(活動) 放課後子ども教室を市立小学校で順次実施 する。				
					トカム		アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指	指標説明		(活動効果) 放課後子ども教室およい放課後子ども教室と 一体とした留守家庭児童会室に参加した児童 と保護者の満足度 【算出式:アンケートにて「満足」「やや満足 度」と回答した人数/アンケート回答者数× 100】				ども教室の年	三間延べ利用	月人数	放課後子と	が教室実施		1.1.		
標設	指	標種類	増加]することが]	<mark>単位</mark> 良いとされる	% 5指標	増	加することが.	<mark>単位</mark> 良いとされる	八 指標	増加	ロすることが J		校 指標	
設定	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
Æ	標 数	(見込	_	80	80	80	_	3,600	3,600	127,600	_	4	2	44	
	植	実績	_	76.24			_	3,244				4			
		L 交換 性成度			<u>1</u> 5%				0%				1 1%	<u> </u>	
			目標には及いるとの回	とばなかった		は満足されて									
					トカム 対効果)				〜プット カ結果)		インプット (活動)				
ロジ	ロジックモデル②		間」「空間」 充実した環	「仲間」いわ 境の中で、 などが育成	ゆる「3間([・] 児童の自主 される。	らされる「時 サンマ)」が E性や社会	希望する児童が留守家庭児童会室を利用す る				放課後子ども教室と一体とした留守家庭児童会室を実施する				
					トカム 物果)				トプット b結果)				プット :動)		
指標			(活動効果) 放課後子ども教室おまび放課後子ども教室と 一体とした留守家庭児童会室に参加した児童と保護者の満足度 【算出式:アンケートにて「満足」「やや満足度」と回答した人数/アンケート回答者数× 100】 単位 %				数(4月1日時		人	(活動) 放課後子ども教室と一体とした留守家庭児童 会室数 単位 校					
設定		標種類]することが]	良いとされる	指標		少することが	良いとされる	指標		ロすることが」	良いとされる	指標	
定②	指標	日保	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	数	(見込み)	_	80	80	80	_	0	0	0	_	4	4	44	
	値	実績	_	76.24	F0/			56				4	1	<u> </u>	
	通	植成度	口 		5%	(油ロチ)- 一		(0%			10	00%		
	:	分析	目標には及いるとの回		-ものの概ね	は満足されて	待機児童の解消に努める				実施校を予定どおり増加させる				

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	2.23
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.60
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	14.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付		21,373	17,521		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)		827	2,561		
歳	件	特別職非常勤			0		
出	費	附属機関委員		314	143		
ш		人件費計		22,514	20,225		
	物件				42,559	43,373	98%
		歳出計		0	62,784		
		支出金		0	3,228	3,829	
	府支			0	0	0	
歳		者負担(使用料・手数料)		0	0	0	
入	市債			0	0	0	
	その			0	0	0	
		歳入計		0	3,228	0	
		一般財源		0	39,331	43,373	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>令和3年度は直営2校、委託2校で先行導入した。 その検証結果を踏まえ、令和5年4月より、全小学校において総合型放課後事業を実施する。

6. 今後の方向性 区分 拡充

今後の 取組方針

令和5年4月の本格実施にむけて、民間委託業者(22校)の選定を令和4年度に行う。

事系	务事	業実績	責測定調	書										
事	務事	業名称	放課後子ど	放課後子ども課運営事務										
	測定年	年度	202	I(R3)年度	Ę		部		学校教育	部	課	放	課後子ども請	果
市長	公約。	との関係	所信表明	月		市政運営方針	R2		R3		R4			
				本目標		9.施策体系外			<u> </u>					
総	合計區	画体系		策目標		99.施策体系外								
			行計画名											
1.		事業の概												
	種類		Þ	部管理		特性			的事務		区分	J	庶務的内部	
	事業排)+ +\ &\				年度	~						年度まで
	製拠法		決裁等											
		金名称								サンセット			~	
関係	附属	幾関名称												
			メインタ-		放課後	子ども課職員								
	事業対	対象	サブター											
			ターゲットカ 題		課の運	営を円滑に図る	必要があ	る。						
			ターゲットか 題											
đ	かざす あるべ 動が解 態	き姿 決した状	押の海岸が		われてい	る。								
	事業権	既要	課の運営業	務										
2. □	1ジッ	クモデル	及び指標	设定										
				アウ (活動	<u>トカム</u> 動効果)		アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
D ;	ジック・	モデル												
					トカム				プット		インプット (活動)			
				(活動	<u>协効果)</u>			(活男	<u>結果)</u>			(注	1到/	
	指標説明				単位	Ť			単位				単位	
指	指	標種類				-			1 1-2	-			1 1-1-4	
標	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
設定	指標 数	日標 (見込み)												
	値	実績												
	适	成度												
		分析												

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	2.89
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付			2,611		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)			6,611		
歳	件	特別職非常勤			0		
出	費	附属機関委員			0		
ш		人件費計			9,222		
	物件				456	720	64%
		歳出計			9,680		
		支出金			0	0	
	府支				0	0	
歳		者負担(使用料·手数料)			0	0	
入	市債				0	0	
	その				0	0	
		歳入計			0	0	
		一般財源			458	715	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>課の運営を円滑行うため適切な事務執行を行うことができた。

6. 今後の方向性 区分 現 現状維持

今後の 課の運営を円滑に行うため適切な事務執行を行う。 取組方針